



都道府県がん診療連携拠点病院
兵庫県立がんセンター

vol.
97
2026 06

兵庫県立がんセンターと地域の医療関係者をつなぐ

かけはし



特集

消化器内科「消化器内科のご案内」

— 安心して受診いただける、質の高い消化器診療を —

歯科口腔外科「チームで守る！周術期口腔機能管理」

- 医療安全部 安心、安全な医療で患者さんと職員を守ります
- 第8回 兵庫県立がんセンター地域公開講座
- 手術支援ロボットのダヴィンチda Vinci XとXiの2台体制で運用開始
- 桜満開、新病院建設は「三分咲き」— 完成予想ジオラマを公開中
- 新年度のご挨拶



消化器内科のご案内

— 安心して受診いただける、質の高い消化器診療を —

消化器内科

私たち消化器内科は、誠実で、質が高く、ていねいな医療を大切にしながら、患者さんに安心して受診していただける診療を心がけています。

当科では、食道がん、胃がん、大腸がん、小腸がん、肝がん、胆道がん、膵臓がん、神経内分泌腫瘍、GIST（消化管間質腫瘍）など、消化器領域のさまざまながんに対して、診断と内科的治療を行っています。治療内容は、内視鏡治療、経皮的治療、薬物療法（抗がん剤治療）、緩和医療など多岐にわたります。

消化器の病気は種類も状態もさまざまで、患者さんごとに適した診療が異なります。そのため当科では、科内でのカンファレンスに加え、消化器外科、放射線診断科、放射線治療科などの関連診療科と毎週カンサーボードを行い、治療方針を丁寧に検討しています。このような体制のもと、患者さんに常によりよい医療をご提供できるよう取り組んでいます。

2025年度の実績は、入院患者数14,021人、外来患者数21,454人、消化器内視鏡検査6,433件（うち内視鏡治療1,955件）、外来化学療法4,113件でした。当院の中でも最も多くの患者さんの診療に関わっており、これらを9人のスタッフが力を合わせて日々診療にあたっていました。

新しいスタッフが加わりました

今年度は新たに若い先生方が加わり、スタッフ体制がさらに充実しました。近隣のさまざまな医療機関か

ら、「がん診療をしっかりと学びたい」という熱意を持った先生方が、私たちのチームに参加しています。

河原 慎一郎 先生（兵庫県立加古川医療センターより）、山田 舞哉 先生（高槻病院より）、平石 直人 先生（加古川中央市民病院より）、武田 達朗 先生（加古川中央市民病院より）、森井 麻衣子 先生（大阪公立大学医学部附属病院より）

これまで以上に幅広いご相談やご要望にお応えできるよう、スタッフ一同、力を合わせて取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

消化器がん診療の専門性を、地域の安心へ

健康診断・がん検診後の二次検査にも力を入れています。

がんの治療で何より大切なのは、早く見つけて、早く治療につなげることです。当院では、少しでも多くの方に安心して二次検査を受けていただけるよう、受診しやすい体制づくりを進めています。

実際に、がんの患者さん（罹患数）が多い部位をみると、1位は大腸、2位は肺、3位は胃であり、上位3つのうち2つが消化器領域のがんです。また近年は、大腸がんだけでなく、食道がんや膵臓がんも増加傾向にあります（図1）。

そのため、健診や検診で異常を指摘された際には、早めに精密検査を受けることがとても大切です。

健康診断、がん検診、人間ドックなどで、「再検査



が必要です」「詳しい検査を受けてください」と言われた方を対象に、消化器領域をはじめ、さまざまな臓器の二次検査・精密検査に対応しています。ご予約は、当院ホームページやQRコードから直接お申し込みいただけます。(図2)

当センターには各分野の専門医がそろっています。専門医による精密検査を受けていただくことで、不安を少しでも軽くし、必要な場合には適切な治療へできるだけ早くつなげていきます。

「同じ検査を受けるなら、安心して任せられる専門病院で」

男性	増加	食道、直腸、膵臓、前立腺、甲状腺、悪性リンパ腫、白血病
	減少	胃、結腸、肝臓、胆のう、胆管、肺
	横ばい	大腸(結腸および直腸)
女性	増加	食道、結腸、直腸、大腸(結腸および直腸)、膵臓、子宮、子宮頸部、白血病
	減少	胃、肝臓、胆のう、胆管
	横ばい	肺、乳房、子宮体部、卵巣、甲状腺、悪性リンパ腫

図1：主要部位別の年齢調整率の近年の傾向（罹患）
がん情報サービス <https://ganjoho.jp/public/index.html>より

兵庫県立がんセンター 健康診断・がん検診等の二次検査予約について

兵庫県立がんセンターでは、健康診断・がん検診・人間ドック等で再検査や精密検査の指示がある方の二次検査を実施しています。（精密検査の前にまず診察にお越しいただきます。）



内視鏡は眠って検査可能



高度精密機器による診断

《下記の検査で再検査や精密検査の指示があった方が対象》

- 胸部レントゲン
- 子宮がん検診
- 胃透視・胃カメラ・ABC 検診
- 便潜血検査・大腸カメラ
- 腫瘍マーカー検査（前立腺特異抗原 PSA）
- 腫瘍マーカー検査（PSA 以外の腫瘍マーカー）

診察ご希望の方は、下記の QR コードまたはホームページから診察予約が可能です。後ほど、がんセンターより電話またはメールで予約のご連絡をいたします。

二次検査診察予約用ホームページ URL

<https://forms.gle/BPC4UyyFrUQytHuA9>

診察予約用 QR コード



★当日の持参物★

- ・精密検査依頼書もしくは紹介状
- ・マイナ保険証または資格確認書
- ・当院の診察券（お持ちのかた）
- ・お薬手帳

図2

チームで守る！周術期口腔機能管理

歯科口腔外科

はじめに

がん治療において、手術、化学療法、放射線治療を安全に進めるための土台となるのが口腔環境の改善です。周術期の口腔機能管理が誤嚥性肺炎を予防できることが1999年ごろから報告され始め、近年ではエビデンスのある治療として、肺炎や化学療法、放射線治療中の粘膜炎など治療に伴う合併症の予防に有効な手段であることが認知されています。周術期口腔機能管理は2012年に医療保険導入され、がんで手術、化学療法、放射線療法、緩和ケアを受けられる患者さんを対象に積極的に歯科的介入することで、がん治療中の合併症、口内炎や疼痛の軽減による経口摂取の維持、しいては入院期間の短縮につながるという医学的意義があると言われています。

院内連携が生んだ「仕組み」の成果

兵庫県立がんセンター歯科口腔外科でもがん治療を安全かつ円滑に進めるため「院内のがん患者さんに等しく口腔機能管理を届けること」を目標に取り組んできました。これを実現するため、外来フロー担当看護師の尽力により、各診療科のクリニカルパスに口腔管理を組み込むシステムを構築しました。主治医の先生方の多大な協力と継続的なモニタリングにより、この仕組みは病院全体の標準的な文化として定着しています。その成果は数字に如実に表れており、令和7年度のデータでは、**全身麻酔下手術を受ける患者さんへの歯科介入率は病院全体で93.0%**（1,336件中1,243件）という極めて高い水準に達しました。

歯科の専門性が防ぐ「術中トラブル」

術前の介入で特筆すべきは「動揺歯（ぐらついている歯）」の早期発見です。全身麻酔時の気管挿管では管が歯に接触するため、動揺歯を見逃すと術中に歯が脱落し、肺への誤飲や損傷を招く重大なリスクがあります。当科では、歯科医師が事前に診察を行い、必要に応じてマウスピースによる固定や抜歯を行うことでこれらの危険を未然に防いでいます。この連携の中では歯科衛生士が**病棟看護師や手術室看護師への確実な申し送り**を直接行うことや、誰もが一目で把握できるように衛生士の口腔ケア実施記録用紙にリスク共有する仕組み作りなど積極的に多職種連携の重要な役割を果たしてくれています。

口腔ケアの実践

お口のケアは単なる「清掃」ではなく、症状に応じた「専門的介入」です。当科では、患者さんの症状のグレードに合わせて、また汚れを落とす、潤す、痛みを止めるといった目的に応じて、以下のような含嗽薬（うがい薬）をパズルのように組み合わせて提供しています。

1. **洗浄とベースケア**：粘り気の強い唾液や汚れには「重曹水」を用いて、まずは徹底した洗浄を行います。症状に応じて口腔内の細菌コントロールを目的に「コンクールF」を使用する場合もあります。
2. **保湿と炎症緩和**：乾燥対策として、当科では「アズノールとグリセリン」を混合したうがい液の使用を指導しています。アズノールによる



組織修復と、グリセリンによる潤滑効果を同時に得ることができます。

3. **積極的な鎮痛：**痛みが強く食事が困難な場合には、強力な鎮痛効果を持つ「ジクロフェナク含嗽」や、口腔内に保護膜を作る「エピシル」を導入します。これらを「食前30分」に使用するなど「先制鎮痛」としてサポートしています。

最後に

当科は「口腔がん治療」「がん患者様の口腔管理」「地域の二次医療機関」の3つの柱を軸に診療に取り組んでいます。2027年度には新病院の設立も予定されており、がん治療が進化し強力な薬剤が登場するからこそ、その土台となるお口の健康の重要性は増すばかりです。これからも多職種チームや地域の医療機関と協力し、患者さんが前向きに治療を乗り越えられるよう、全力で支え続けてまいります。

治療前に口腔外科を受診される方へ

**お口のケアで
がん治療による副作用を軽減
することができます**



治療前に専門的なお口のケアを行うことで
お口の中の細菌量を 比較的少ない状態に保つことができます
また、入院時に専門的なケアを行うとさらに有効です

お口のケアをすることによって期待できる効果

- ★ 手術後の肺炎、傷口からの感染リスクが減少します
- ★ 抗がん剤治療や放射線治療に伴うお口の中のトラブルが減少します



手術後肺炎



手術創部感染



抗がん剤・放射線による口内炎

安心、安全な医療で 患者さんと職員を守ります

医療安全管理室の目標 『報告する文化の醸成』

安全、安心な医療を提供するために、院内の安全管理を行っています。

医療におけるリスクをできる限り減らし、メリットを最大限に引き出し提供できるよう、病院内の仕組みを整えることが最大の役割です。それにより、患者さんとそのご家族、職員のすべてを守ります。

また、医療安全を支える基盤として「気づいたことをためらわずに報告できる文化」の醸成にも力を入れています。小さな報告が大きな事故を防ぐ第一歩となるため、誰もが安心して声を上げられる環境づくりを目標に取り組んでいます。

提供する主な活動内容

毎月180件前後提出されるインシデント報告について、医師・看護師・コメディカルが集まり週1回事例検討を行い、タイムリーな問題把握をします。

(セーフティー・コア・チーム)

特にリスクが高い事例については病院トップ（院長をはじめ、各部門の長）と情報を共有し、医療安全の方策や有害事象発生時の対応を検討します。

(医療安全管理委員会)

また、各診療科・部門より選出された約45名のセーフティーマネジャーとともに、インシデント報告例を共有し、問題改善策の検討などを行います。

(セーフティーマネジメント部会)

重点取り組み

「患者誤認防止」と「転倒・転落防止」を重点テーマとして取り組んでいます。

患者誤認については、患者さんへの声かけ、同意書等の書類の氏名確認、電子カルテを一度に複数の患者を開かないよう制限を設ける等さまざまな対策を進めています。

これらの取り組みは、日常の小さな“気づき”を積み重ねることで、重大事故を未然に防ぐことを目的としています。

転倒転落は、一般的な病院では80～90歳代が中心であるのに対し、当がんセンターでは70歳代の患者が最も多いという特徴が明らかになりました。

70歳代は「まだ動ける」という意識が強い一方、入院に伴う身体機能の低下に適応しきれず、リスクが高まる傾向があります。

今年度は特にこの年代の予防に重点を置き、看護部を中心に看護補助者や理学療法士と連携し、リハビリカンファレンスを通じて多職種での支援体制を強化しました。

こうした取り組みを通じて、患者一人ひとりに合わせた安全な療養環境づくりを進めています。

トイレでの転倒にご注意下さい

体調がすぐれない時は、
遠慮なくナースコールを押して下さい

このような症状はありませんか？

- ◆食欲がなく、ご飯が食べれない
- ◆発熱が続いている
- ◆しんどくて、ベッドで休む時間が増えた
- ◆睡眠剤を服用して、ふらつきがある
- ◆下剤による腹痛がある
- ◆トイレの回数が多い

医療安全管理室

STOP!患者誤認

こんな時、わたしたちに

お名前と生年月日を
教えてください



処方箋やお薬を渡すとき

がんセンターでは、患者さんの安全を守るため、医療行為の際にその都度、お名前と生年月日を確認させていただいております。
みなさまのご協力をお願いいたします。

医療安全管理室



参加者募集

第8回 兵庫県立がんセンター地域公開講座

進歩する大腸がん治療の
最新情報を
わかりやすく解説！

- テーマ** がんセンターにおける最新の大腸がん治療
- 日時** 令和8年7月25日(土) 14:00～16:00(開場 13:30)
- 会場** 加古川市総合福祉会館 2階大ホール
- 対象** 一般の方、医療関係者(定員120名)
- 入場料** 無料
- 申込締切** 令和8年7月21日(火)
- 主催** 兵庫県立がんセンター
- 共催** 兵庫県がん診療連携協議会
- 後援** 兵庫県医師会、加古川市、加古川医師会、兵庫県看護協会、神戸新聞社
- 申込方法** 二次元コードから参加登録、又は下記問合せ先へメール・FAX・電話によりお申し込みください。
※住所、氏名(参加希望者全員)、電話番号が必要です
受付番号を記入した参加証を送付しますので、当日ご持参ください

申込フォーム



PROGRAM

- 開会** あいさつ
兵庫県立がんセンター 院長 富永 正寛
- 司会・座長**
兵庫県立がんセンター 消化器内科部長 津田 政広
兵庫県立がんセンター 消化器外科部長 岡崎 太郎
- 講演1** 大腸腫瘍に対する内視鏡治療の役割
兵庫県立がんセンター 消化器内科部長 山本 佳宣
- 講演2** 大腸がんに対するロボット支援手術
兵庫県立がんセンター 消化器外科医長 山岡 雄祐
- 講演3** 大腸がん最新の抗がん剤治療について
兵庫県立がんセンター 消化器内科部長 武川 直樹
- Q&Aコーナー**

申込・
問い合わせ先

兵庫県立がんセンター総務課 地域公開講座事務局
TEL:078-929-1151(代) FAX:078-929-2380

E-mail:jimukyoku@hyogo-ganshinryo.jp

i
INFORMATION

手術支援ロボットのダヴィンチda Vinci XとXiの2台体制で運用開始

2026年4月より、念願であった手術支援ロボットのダヴィンチda Vinci XとXiの2台体制での運用を開始しました。1台体制では2023年度244件、2024年度269件、2025年度277件とほぼ毎日実施しており、これ以上件数を増やせない状況でしたが、2台での運用が始まることにより、さらに多くの手術をロボットで実施できるようになりました。ダヴィンチによるロボット手術の利点は、患者さんにとっては低侵襲であり術後の早期回復に貢献していますし、術者にとっては3Dでの拡大した視野で手振れの少ないより精緻な手術操作が可能となります。現在は泌尿器科、婦人科、消化器外科、呼吸器外科で実施しています。手術の待機日数も短くなりますのでロボット手術のご希望がありましたら、いつでもご相談ください。



Vision Cart×2 Patient Cart Xi Surgeon Console×2 Patient Cart X

桜満開、新病院建設は「三分咲き」― 完成予想ジオラマを公開中

今年も敷地内の桜が満開を迎えました。その向こうでは、新病院の建設工事が着実に進んでいます。4月時点で地上2階部分まで立ち上がり、地上7階建ての完成形に向けて「三分咲き」といったところでしょうか。

このたび、1階ロビーに新病院の完成予想ジオラマを設置いたしました。7階建ての建物全体の外観デザインや周辺の環境整備の様子を、立体模型でご覧いただけます。完成後の新病院の姿を、ぜひ間近でご確認ください。

新病院では、最先端のがん医療をはじめとする高度医療機能の充実と、地域の皆さまに寄り添った温かい医療の提供を目指しています。満開完成をどうぞご期待ください。



満開の桜と、建設中の新病院



1階ロビーに設置されたジオラマ

新年度のご挨拶

皆さん、こんにちは、がんセンター院長の富永です。

4月から新しくがんセンターに入職した職員もフレッシュな雰囲気の中それぞれの部署において業務にも慣れてきた頃かと思っています。

世の中は不安定で政治も経済も明るい話題がない中、がんセンターは新築建替と経営改善の大きな課題を抱えています。新築建替については、ようやく約1年半後に念願の新病院が開院予定で、工事は着々と進んでいます。今後は医療機器の最終選定や移設の準備に入るため慌ただしい時期に入っていきますが、近隣の皆さんにはご迷惑をかけないように配慮していきたいと思っています。経営に関しては、今回の診療報酬改定で主な対象施設の枠組みが救急患者数と手術件数の両方で規定されるため、救急車がどんどん入る病院ではない当院は、この点でその恩恵にはあずかれず厳しい状況が続きます。

これからの医療は機能分化・役割分担の時代になりますし、がん医療もこれまでの均てん化政策からある程度の集約化に方向転換されます。がんセンター建替後の旧病院跡地は、明石市立市民病院の移転候補地に示されており、予定通り移転整備され市民の方々がここに来れば、良性・悪性疾患、救急なんでも診てもらえる体制になります。さらに医療従事者についても、お互いの病院に欠けている部門を相互研修や交流会の形で補い合うことができれば、全国的にもモデルケースになるのではないかと思います。

がんセンターの役割は「がん診療の質と安全性」「先進医療」「多職種連携チーム医療」の3つが大事と考えていて、当院は医師をはじめパラメディカルの方々も各々の領域において専門資格や技術認定を取得したスタッフが比較的揃っており、集学的治療といわれる中で、同一施設内で多職種間の連携をとりながら、先進的な治療も含め様々な治療選択肢の提案・提供ができるのが強みです。

新病院のコンセプトとしては、患者さんの利便性とサポート体制を一番に念頭に置いていて、がんに関することならどんなことでも幅広く利用していただける病院を目指していますので、今後ともご支援・ご協力の程、お願い申し上げます。

院長 富永 正寛



都道府県がん診療連携拠点病院

兵庫県立がんセンター

〒673-8558 兵庫県明石市北王子町 13-70

電話：078-929-1151 FAX：078-929-2380

ホームページ <https://hyogo-cc.jp/>

兵庫県がん

検索

